

2021年2月24日

既設住宅分電盤(※1)も主幹漏電ブレーカ(※2)の交換で地震対策
単3中性線欠相保護付 漏電ブレーカ 感震ブレーカー機能付 発売
 新築に加え、既築にも対応した充実の品揃え



単3中性線欠相保護付
漏電ブレーカ
AB-60J型
感震ブレーカー機能付



ニューコスモシリーズ パネルS
(主幹漏電ブレーカ 取替前)



ニューコスモシリーズ パネルS
(主幹漏電ブレーカ 取替後)

品名	単3中性線欠相保護付 漏電ブレーカ AB-60J型 感震ブレーカー機能付
品番	BJX340325J2、BJX350325J2、BJX360325J2
希望小売価格(税抜・工事費別)	31,800円
発売日	2021年3月22日
販売目標	1億円/年

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社は、震度5強以上の地震を感知し、分電盤の電気をストップすることで、「通電火災(※3)」を防止する漏電ブレーカ(※4)『単3中性線欠相保護(※5)付 漏電ブレーカ 感震ブレーカー機能付』を2021年3月22日に発売します。

大きな地震発生時の二次災害「通電火災(※3)」への対策として、内閣府・消防庁・経済産業省などから感震ブレーカーの設置促進が求められています。また、内線規程では、「『地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域』の全ての住宅、及び都市計画法に基づく『防火地域』・『準防火地域』の木造及び鉄骨造の住宅など(共に耐火建築物を除く)の場合、感震遮断機能付住宅用分電盤を施設すること」が勧告(※6)とされています。

本製品は、感震ブレーカー機能(※7)を一体化した漏電ブレーカ(※4)です。漏電ブレーカ(※3)の取り付け寸法を既設のパナソニック製住宅分電盤で搭載されていた主幹漏電ブレーカ(※2) [AB-60型]と合わせていますので、主幹漏電ブレーカの交換により既設の住宅分電盤(※1)に感震機能(※7)を追加することができます。

また、本製品以外にも住宅分電盤コンパクト21の分岐ブレーカスペースに搭載可能な「感震ブレーカー(BQX702)」があり、新築住宅やリフォームで分電盤を新設する場合には、感震ブレーカー搭載分電盤「地震あんしんばん」、既築住宅で別置きで設置可能な「感震リニューアルボックス」「感震マルチボックス」など、設置場面に応じて選定できるラインアップとなっています。

当社では感震ブレーカーの普及促進に取り組み、今後も、地震による電気火災を防止し、安全、安心に貢献していきます。

<特長>

1. 既設住宅分電盤の主幹漏電ブレーカの交換により、地震対策が可能
2. 追加配線工事不要で主幹漏電ブレーカの交換が可能
3. 新築、既築それぞれに適した感震ブレーカーをラインナップ

※1:対象住宅分電盤:ニューコスモシリーズ パネルF(品番頭:BQFA/BQFC/BQFD)および、ニューコスモシリーズ パネルS(品番頭:BQSA/BQSC/BQSD)の主幹漏電ブレーカがAB-60型タイプ。

※2:電気を住宅に引込み、コンセント回路や照明回路などに配電する住宅分電盤の元に設置される漏電ブレーカで、過電流や短絡から配線を保護する機能がついています。(主幹漏電ブレーカの手前に電力会社より電流制限器を設置されている場合があります)

※3:地震による停電が復旧した時、倒れた暖房機器や傷んだコードに再び電気が流れることで起きる二次災害です。

※4:漏電による感電事故や漏電火災を保護するためのブレーカで、過電流や短絡から配線を保護する機能がついたものが一般的になっています。

※5:単相3線配線において中性線(N相)が切れた場合、接続されている負荷のバランスにより発生する異常電圧から負荷を保護するための機能。

※6:電気設備の保安確保を目的として一般社団法人日本電気協会が策定する、内線規程 JEAC8001-2016[2019年追補版]において、「1365-10 感震遮断機能付住宅用分電盤」に記載。

※7:震度5強以上の地震を検知すると本体表示灯の点灯とブザーでお知らせ、3分後に漏電ブレーカを遮断(3分以内に停電した場合は復電時に漏電ブレーカを遮断)します。

【お問い合わせ先】

照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-878-709(受付 9:00~18:00 365日)

【特長】

1. 既設住宅分電盤の主幹漏電ブレーカの交換により、地震対策が可能

■漏電ブレーカと感震ブレーカーを一体化

電路の異常（過電流・短絡・漏電・単3中性線欠相）を保護するための「単3中性線欠相保護付 漏電ブレーカ」と地震対策のための「感震ブレーカー」を一体化しました。



・交換例（ニューコスモシリーズ パネルS の場合）

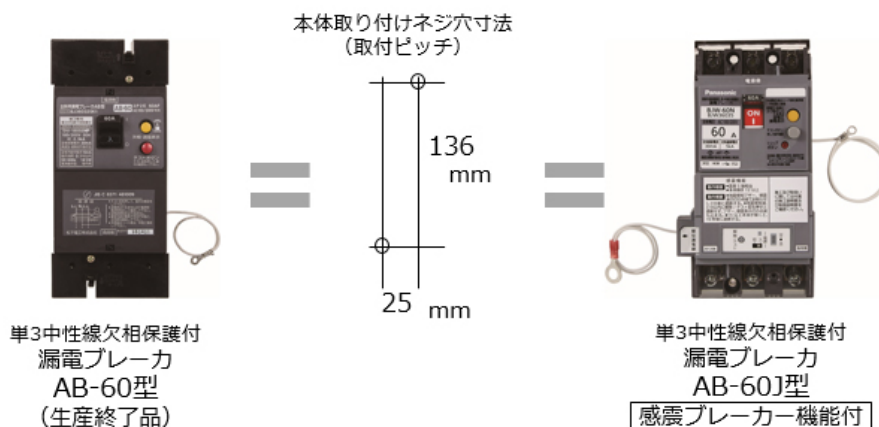
既設の主幹漏電ブレーカを取り外して、単3中性線欠相保護付 漏電ブレーカ 感震ブレーカー機能付 に交換



2. 追加配線工事不要で主幹漏電ブレーカの交換が可能

■主幹漏電ブレーカ AB-60型（生産終了品）と取り付け寸法を共通化

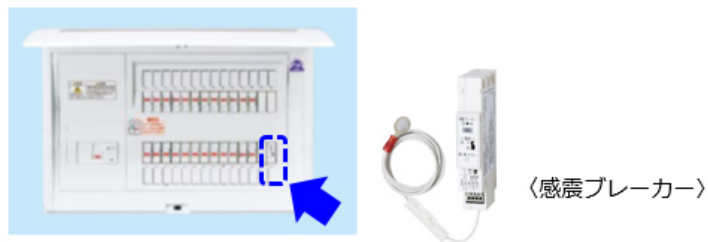
既設住宅分電盤（※1）（生産終了品）の主幹漏電ブレーカで搭載のAB-60型（生産終了品）と取り付け寸法をあわせることで、主幹漏電ブレーカの交換に対応しました。



3. 新築、既築それぞれに適した感震ブレーカーをラインナップ

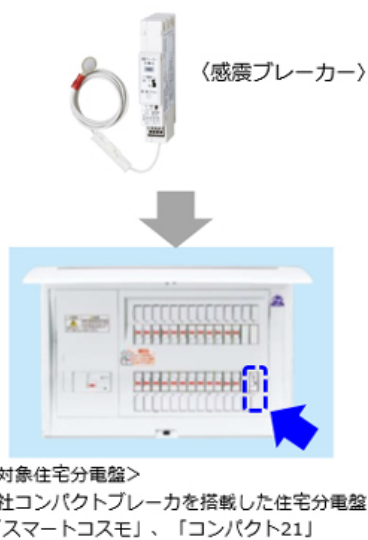
■新築住宅・リフォームで住宅分電盤を新設する場合

感震ブレーカーを搭載した「地震あんしんばん」

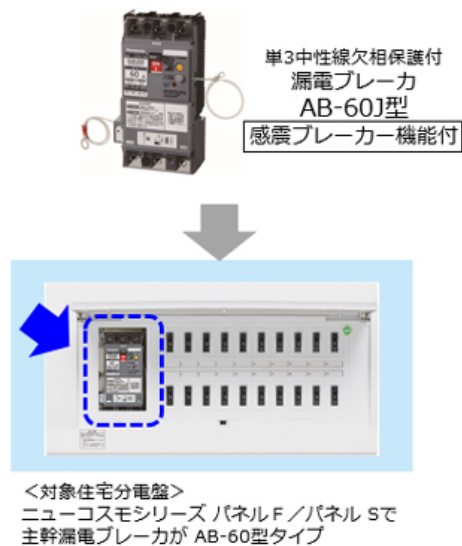


■既築住宅分電盤で感震ブレーカー機能を追加する場合

- ・分岐ブレーカの空きスペースに「感震ブレーカー (BQX702)」を設置

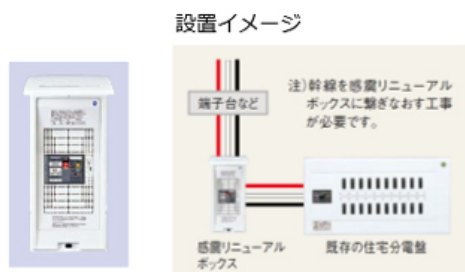


- ・主幹漏電ブレーカの交換で感震ブレーカー機能を追加



■既築住宅分電盤と別置きで感震ブレーカー機能を追加する場合

- ・感震ブレーカー機能と漏電遮断機能を搭載した感震リニューアルボックス



- ・感震ブレーカー機能と回路増設が可能な感震マルチボックス



【参考】

■感震ブレーカー紹介動画のご案内

<URL>

http://www2.panasonic.biz/ls/densetsu/denro/compact21/seismic_breaker/

<p>地震による通電火災をふせぐ【パナソニックの感震ブレーカー】 パナソニックの住宅分電盤コンパクト21シリーズ専用「感震ブレーカー」のご紹介です。</p>	<p>地震に備えて 感震ブレーカー 日本は地震大国です。ほぼ毎日どこかで地震が発生しています。皆さんがお住まいの土地でも、ある日大地震が起こるかもしれません。</p>

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。